

中部地区 公民館だより

第116号

令和2年10月1日発行
上山市中部地区公民館
上山市十日町4番11号
TEL/FAX 673-2588

9/24
(木)

フライングディスクと輪投げ大会 狙いを定めて それ～!

目指すはパーフェクト

生涯学習センター体育館で第7回フライングディスクと輪投げの大会が開催されました。22名の選手が和やかな中にも、優勝目指して熱い戦いを繰り広げました。

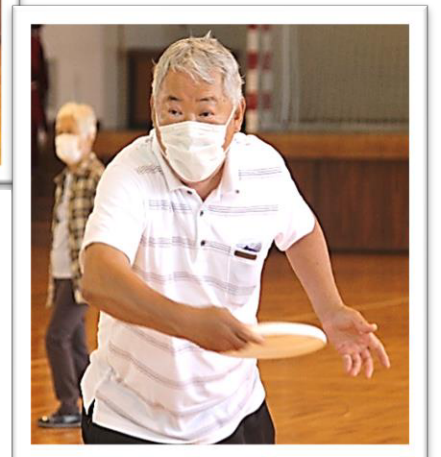
輪投げでは、講師の佐竹先生よりご指導をいただき、2メートル先の的をめがけて点数を競いました。近くに見えてもなかなか思い通りに入らず、番号を宣言したり、「集中!」と叫んで輪を投げたりしましたが、「あら～なんだべ」とため息交じりの声のでるなど、楽しさと難しさを改めて感じました。



集中……



行け～!



フライングディスクでは、講師の笹原先生よりディスクゲッター、アキュラシー、ディスクスタンスのご指導をいただき、より正確に、より遠くまでディスクを飛ばしました。各種目で狙い通りに飛んでくれないディスクに苦戦しながらも、参加者の笑顔が絶えず、楽しく有意義な大会となりました。「輪投げもフライングディスクもコツをつかめばもっと面白くプレーできそう、来年も参加します」との感想もいただきました。

粘土細工教室



高瀬泉先生

9月4日(金)に多目的ホールにて粘土細工教室が行われました。

高瀬泉先生から丁寧に教えていただき、指先を使って、練ったり、つぶしたり、接着したりして自分だけのブローチ等を作りました。



街歩きウォーキング 地域を見る・知る・学ぶ・楽しむ

9月8日(火)、令和2年度1回目の街歩きウォーキングが行われました。湯町地区の山城屋では、齋藤茂吉が手ほどきを受けた佐原隆応和尚揮毫のものに基づき作られた看板(現在はレプリカ)を見学し、その後軽井沢地区の浄光寺に向かい、浄光寺住職から浄光寺の歴史、庭園、墓地などについて説明をいただき、また、心の字の形をしたという池のある美しい庭園を見せていただきました。その後、蕎麦処一休さんに立ち寄り、おいしいお蕎麦に舌つつみを打ち、帰路につきました。



萩生田祐司住職



はこべの会 健康教室 カローリング

9月9日(水)と9月11日(金)の2日間、高齢者教室でカローリングを上山スポーツクラブの指導で行いました。当初は1回の開催予定でありましたが、3密を防ぐため2回に分けて実施となりました。



齋藤武司先生

カローリングは冬季オリンピックでおなじみのカーリングを氷上ではなく、床の上で行う競技です。得点となっていたジェットローラを思い切りはじき出すシーンには、大きな拍手と歓声が上がったり、また、ミスショットには、キャーと大きな叫び声が上がったり……。

「いやあ、面白かった。」「意外と簡単だけど、奥が深い。」と感想をお寄せいただきました。



出前スポーツ教室 はこべの会共催 骨盤底筋体操

日時 10月28日(水)午前10時から11時
場所 中部地区公民館 多目的ホール
対象 中部地区在住の方
講師 NPO 法人かみのやまスポーツクラブ
持ち物 タオル、お持ちの方はヨガマット

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のためマスクの着用をお願いします。

参加者募集

公民館大掃除 ボランティア募集

日時 11月7日(土)
午前7時50分集合
午前8時から9時
集合場所 中部地区公民館ギャラリー
持ち物 上履き

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のためマスクの着用をお願いします。

参加者募集

芸術の秋、スポーツの秋ですね。
公民館事業で秋を満喫してみませんか？
連絡、お待ちしております。

街歩きウォーキング

中部地区公民館を出発し、地区管内、外を歩いて散策する予定です。

日時 10月23日(金)
9時30分から正午

集合場所 中部地区公民館

対象 中部地区在住の方

参加費 500円

持ち物 帽子、タオル、飲み物

※新型コロナウイルス感染症防止のため、マスクの着用をお願いします。

七宝焼き教室

日時 10月15日(木)
午後1時30分から午後4時
場所 中部地区公民館 多目的ホール
対象 中部地区在住の方
講師 西郷地区公民館職員

参加費 500円

申込受付 10月5日(月) から先着10名
(定員になり次第、締切ります)

持ち物 うち履き、必要な方は老眼鏡

◎今回の作品はブローチとループタイです。

申込みの際、どちらかを選んでください。

◎色見本は公民館に準備してあります。

※新型コロナウイルス感染症防止のため、マスクの着用をお願いします。

ハーバリウム教室

日時 10月21日(水)
午後1時30分から午後3時
場所 中部地区公民館 多目的ホール
対象 中部地区在住の方
講師 三ツ星 HANA ソムリエ マイスター
畠山優子先生

参加費 1,000円(材料代として)

持ち物 手拭き用タオル、うち履き、筆記用具

申込受付 10月5日(月)から先着10名(定員になり次第締め切ります)

※見本品は事務所に準備してあります。お声がけください。

※新型コロナウイルス感染症防止のためマスクの着用をお願いします。



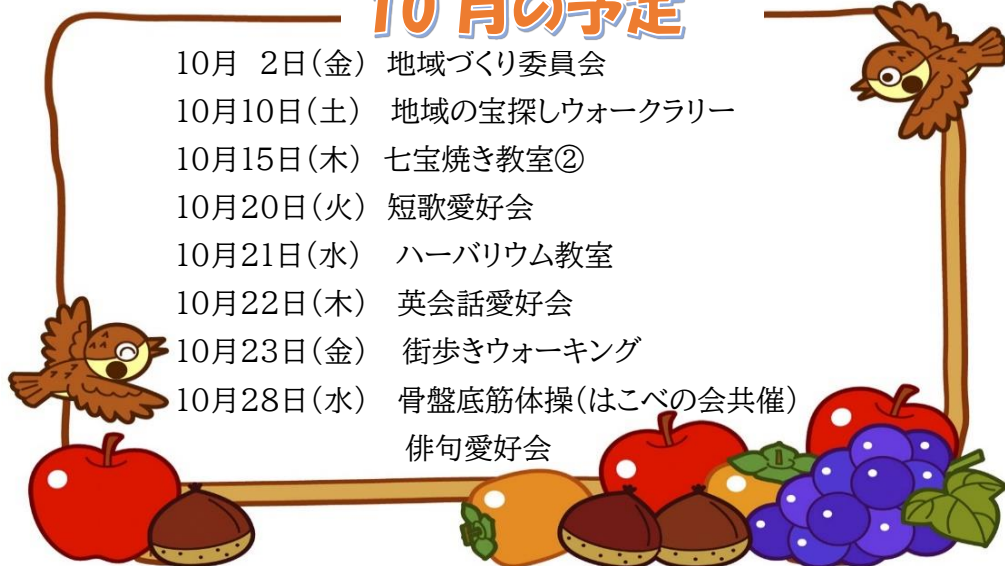
10月の予定

- 10月 2日(金) 地域づくり委員会
- 10月10日(土) 地域の宝探しウォークラリー
- 10月15日(木) 七宝焼き教室②
- 10月20日(火) 短歌愛好会
- 10月21日(水) ハーバリウム教室
- 10月22日(木) 英会話愛好会
- 10月23日(金) 街歩きウォーキング
- 10月28日(水) 骨盤底筋体操(はこべの会共催)
俳句愛好会

宝さがしウォークラリーは雨天の場合、中止になります。(参加者には午前8時まで連絡いたします。)

◎ 10月に予定しておりました『史跡めぐり』は中止になりました。

◎ 10月の百歳体操は1日・8日・15日・22日・29日になります。



地域の宝再発見

NO.53

『城廻り』シリーズ1. 十日町通りのこと(10)

今までシリーズでご城下東裾の十日町通りの形成過程を見てきました。資料は『上山見聞随筆付図集』、『正保城絵図』、『上山三家見聞日記』、及び郷土史家の考察資料などでした。しかし、十日町の初期形成過程を裏付ける考察資料を見いだすことは出来ませんでした。

「十日町の形成過程」という焦点で見ますと、『正保城絵図』（正保元年、1644）に不思議な点がありました。『正保城絵図』『出羽国之内上山絵図』には、不自然な前川の屈曲、お堀跡、川の途切れがあります。城絵図が正しく提出時の町並みを描いているとすると川の改修工事の途中の痕跡を描いていることとなります。この点を重視して考察すれば、下大湯の設置（寛永二年、1625）から正保（1644）年間の前川の改修途中と、それ以降徐々に十日町、裏町、北町が拡張形成されたと見ることができます。もし、事実を反映していない絵図であるとしたならば、どがいこうしゅうき『土芥寇讎記』（元禄三年1690、將軍綱吉代、上山藩は土岐頼隆転封直前、全国243諸藩の隠密報告書、※筆者未見）に記されて上山藩城郭と町割の嘘が露見したことでしょう。とする当然処罰が下されま（全国諸藩の『正保絵図』とその整合性の是非は筆者は分かりません）。

さてもう一つの大きな観点ですが、現在の町並みに不思議な地形が見られることです。下十日町の「十日町駐車場」（元会津屋～よねや跡地）敷地は、お城の小高い丘からの裾ですが、古峯神社から観音坂、下

大湯までの地形で巨大な土石が運び出された痕跡を残しています。また清光院へ向かう行者が通行許可証を貰い受けるため観音坂を上り、「鏡橋口番所」を通らなければなりませんでしたが、その番所は観音寺の裏をえぐり取って巨大な土石を排出した屋敷跡があります。寛永六年（1629）土岐侯時代絵図にある鏡橋番所は、文化十一年（1814）「上山城下絵図」、安政二年（1855）発行の『東講商人鑑』『出羽国村山郡上の山鶴脛の温泉の図』に観音坂途中に薬師に向かう口番所として描かれています。

前川改修・移設に伴う土石の移動、台地（二日町・十日町・裏町）設営は、このように城郭周囲を俯瞰すると、二日町、沢丁、上十日町大手門脇に不自然な平地、窪地があって、それは前川移設に必要な補充土石だったと想定することは可能でしょう。

結局、能見松平丹後守重忠（元和八年1622～）の立藩時から蒲生忠知（寛永三年1626～）、土岐山城守頼行（寛永五年1628～）代に亘る長い年月にかけて民間力で行われてきたと考えることもできます。

さて、ご城下東の「十日町形成過程」を考察してきましたが、狙いは達成することはできませんでした。しかし、付随する経過過程を知ることが出来て少なからず収穫があったと思います。読書士に筆者未見の資料があればご教示いただきたいと思います。これにて『城廻り』シリーズ1を終了します。

参考文献：『正保城絵図』、『上山市史』、『上山三家見聞日記』、その他の文献

中部地区 公民館だより

第117号

令和2年11月1日発行
上山市中部地区公民館
上山市十日町4番11号
TEL/FAX 673-2588

地域の宝見つけたよ！

10月10日(土)、第8回地域の宝さがしウォークラリーが開催されました。台風の影響で当日の朝まで雨が心配されましたが、どうにか天候に恵まれ、14チームが中部地区内の5地区を回り、クイズや散策を楽しみました。「地元だけど意外に知らないことがいっぱいあって、いい機会だった」、「同じ道でも車で通ると歩いて通るとでは景色が違うね。小さな発見がいっぱいあった」などの感想をいただきました。各チームでさがした宝はさまざまでしたが、たくさんの地域の宝が見つかりました。今年はコロナの関係でゴール後の交流会はできませんでしたが、事業を通して、地域の絆、家族の絆がより深まりました。



上山の歴史に興味が出てきたぞ！



ウォークラリーに参加しての感想

私は、ウォークラリーでたくさん学びました。神社とお寺の見分け方、神社には神様、お寺には仏様など他にもたくさん学びました。分からないことがあって質問すると分かりやすく教えてくれて、とても楽しかったです！上山にこんなに知らないことがたくさんあったことに、びっくりしました。

また次のウォークラリーがあったら参加したいです！😊

ぜひみなさんもいっしょに参加して、上山の宝を見つけましょう！😊
東町 高橋 ほのか



七宝焼き教室



10月15日(木)に多目的ホールにて七宝焼き教室を開催しました。

今回の七宝焼きは前回と同じくフリット法で、ループタイやブローチをつくりました。



須田先生

ハーバリウム教室

10月21日(水)に多目的ホールにてハーバリウム教室を開催しました。

色とりどりの、たくさんの種類の中から好きな材料を選び、ガラス瓶の中に入れていきます。ガラス瓶に入れる時が一番緊張しました。



島山先生

出したり、入れたりを繰り返す方もいました。オイルを入れて出来上がりです。どれもオリジナルで素敵な作品になりました。



街歩きウォーキング



10月23日(金)、令和2年度2回目の街歩きウォーキングが行われました。上山城では、上山の歴史や文化に関わる展示品の他、秋の企画展として「江戸→現代 山形の相撲」の展示が行われており、懐かしい柏戸の優勝杯を持った写真などが展示されておりました。

その後、武家屋敷の旧曾我部家、三輪家を訪れました。三輪家では、ガイドの方に説明を受け、当時は150件ほどの武家屋敷があり、城を守る要塞となっていたなどの説明をしていただきました。

スマートフォン教室

日 時	11月20日(金) 1回目 11月27日(金) 2回目 午後1時30分～3時まで
場 所	中部地区公民館 多目的ホール
対 象	中部地区在住の方
講 師	佐々木 壽 地域づくり推進員
定 員	先着10名
持ち物	スマートフォン、筆記用具、うち履き

参加者募集

1回目 : 用語の説明、画面の整理、写真プリントアウト、マンツーマンで疑問解決 その他

2回目 : 文章の切り貼り、IDとパスワード、SNSとSMSのマナー、マンツーマンで疑問解決 その他

※ 飲み物は公民館で準備します。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のためマスクの着用をお願いします。

参加者募集

気軽にヨガ教室

ストレッチ系のポーズを中心に、
ヨガらしいバランスのポーズ体験
を加えたレッスンです。

日 時 11月10日(火) 1回目
11月24日(火) 2回目
午前10時30分から11時30分
場 所 中部地区公民館
多目的ホール
対 象 中部地区在住の方
講 師 草替美優先生
定 員 先着10名
持ち物 お持ちの方はヨガマット
タオル、うち履き

- ※ 飲み物は公民館で準備します。
- ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のためマスクの着用をお願いします。

フッダナッツ アレンジ



ひとつの例です

日 時 12月 1日(火)
午後1時30分から午後3時
場 所 中部地区公民館
多目的ホール
対 象 中部地区在住の方
講 師 つかさ花店
武田任以先生
定 員 先着10名
参加費 1,000 円(材料代)
持ち物 うち履き

- ※ 飲み物は公民館で準備します。
- ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のためマスクの着用をお願いします。

11月の予定

11月 7日(土) 第2回公民館大掃除
11月 10日(火) 第1回ヨガ教室
11月 17日(火) 短歌愛好会
11月 18日(水) はこべの会 サロン
DVD鑑賞会
11月 20日(金) 第1回スマホ教室
11月 24日(火) 第2回ヨガ教室
11月 25日(水) 俳句愛好会
11月 26日(木) 英会話愛好会
11月 27日(金) 第2回スマホ教室

★ 百歳体操は5日、12日、19日、26日

はこべの会サロンお知らせ DVD鑑賞 11月のサロン

日 時 11月18日(水)
午前10時～
場 所 中部地区公民館
多目的ホール
参加費 無料

申込締切 11月13日(金)

今回の当番は、新町、新丁、北町、十日町の皆さんです。

当番の方当日9時40分集合です。

よろしくをお願いします。

★ 飲み物とスリッパはご持参ください。

かみのやま健康ポイント がスタートしました

中部地区公民館1階ギャラリーに『あるこう！かぎすくん』が設置されています。
毎日、大勢の方が『シャリーン♪』と、音を鳴らしにやってきます。

地域の宝再発見

NO.54

『城廻り』シリーズ2. 城西廻り(1) 旧国道13号線(1)

先号までご城下東裾の十日町通りの形成過程を見てきました。確かな事実としては、十日町通りが形成され始めたのは「下大湯共同浴場」が設置された寛永元年(1624)頃には、すでに町屋が形成されていたということでした。能見松平重忠侯、蒲生忠知侯着封以前から前川は東に移動し河原沿いに住居地ができはじめていました。「お城廻り新田」が記録されるのはこれに沿うことなのでしょう。

さて、前川が東に移り、八日町、美咲町になる居住地がその後徐々に東に広がり、さらに三吉山麓まで平地の田畑が広がります。しかし元は西山山麓に古道が通り、城を中核に発展してきた地帯でした。

これからのテーマに関わりますが、お城の西廻りを、現在、眺めると不思議な地勢形状が見られます。

旧国道13号線、現在の国道458号線の上を大平山・虚空蔵山、そして経塚山・白兀山麓の居住地区への「虚空蔵橋」、「西山陸橋」が架かっています。この二つの陸橋の間に荒町川が流れています。またそればかりでなく八幡堂川から分かれた「湯尻川源流」が県道458号(旧国道13号線)上に架かって鶴脛町一丁目の武家屋敷を潤し、湯町にも流れていることです。

それは戦後生まれの方々には中学生になる頃に、バイパス一大工事を目の当たりにしてご存じのことと思いますが、弁天から葉山温泉口までの西回り道が開鑿され山麓が国道として切り拓かれて標高が削られたことにより

ます。時は昭和30年代初期、上山市制になって中心市街地の交通量が多くなると大幅な交通量の改善が必要になりました。「市報かみのやま」(昭和37年4月号)には、その「バイパス線(国道13号線)開通」のことが報じられています。昭和37年11月7日に蔵王エコーラインが開通するのとほぼ同じ時期でした。そして旧国道13号線は昭和40年4月1日に西廻りバイパスとなりました。

山形を走る国道の歴史を紐解くと、実は明治18年(1885、イザベラバードが1878年に通過して10年も経たない時期)に国道39号線が東京日本橋を起点にして上山町内(羽州街道)を通過して終点山形までと指定されました。その後昭和35年(1960)6月に起点福島市から上山、山形を通る道路は秋田市を終点とする一級国道13号線に改正、昭和40年(1965)年に一般国道13号線になりました。その後、西回りバイパス旧国道13号線は平成17年(2015)4月に三吉山山麓の東回りバイパスが開通すると、西廻りバイパスは国道458号線、県道51号山形上山線(主要地方道)となったのです。

現在の街中十日町通り(「羽州街道」)は現在は県道13号線と名づけられています。

以後、やや詳しく西廻り地区を見ていきたいと思います。

資料:「市史・下巻」、「上山市年表」、「ふるさと北部」、及び国土交通省山形河川国道事務所情報などを参考にしました。

中部地区 公民館だより

第118号

令和2年12月1日発行
上山市中部地区公民館
上山市十日町4番11号
TEL/FAX 673-2588

出前スポーツ はこべの会共催 骨盤底筋体操



東海林先生

絵を見ると分
かりやすいべ



10月28日(水)、出前スポーツ教室で骨盤底筋体操を行いました。講師の東海林美佐江先生の分かりやすい絵の解説から始まり、「さぼっても、一生懸命やっても、誰にも分らない体操です」と参加者を笑わせながら楽しく進めていただきました。骨盤底筋は骨盤内の臓器を支えている筋肉で、鍛えることにより、ぽっこりお腹の改善や尿漏れ、腰痛などに効果があるそうです。継続することが大事で、座っていても寝転んでいても、テレビを見ながらでもできる簡単体操なので、5年後、10年後の自分を想像しながら頑張りましょう。



ゆったりとした気持ちで 呼吸を整え 指先まで集中

ヨガ



先生のポーズ
美しい!

草替先生

11月10日(火)、24日(火)の両日、ヨガ教室を開催しました。昨年に引き続き、地区内在住の草替実優先生にご指導いただき、硬くなった体をゆっくりとほぐしました。初心者向けの内容で、骨盤の位置に注意し、手の先、足の先まで神経を集中させながらゆっくりと体を動かしました。簡単な動きに見えても、血行が良くなり体がぼかぼかと温まりました。先生の優しい声もプラスして、心も体も軽くなりました。



痛いけど...
気持ちいい



つらい!
足がプルプルする

公民館大掃除



11月7日(土)、第2回公民館大掃除が行われました。

使用後の消毒、清掃は利用団体の方にお願いしているので、大掃除の際は下足箱、廊下など手の回らないところを中心に掃除をしていただきました。

ご協力いただきました利用団体の方、ボランティアの方、大変ありがとうございました。

ピッカピカ



おつかれさまでした



スマホ教室開催

11月20日(金)と、27日(金)の2日間、初心者のためのスマホ教室が開催されました。中部地区公民館の佐々木 壽地域づくり推進員を講師に迎え、1日目は、用語や画面操作等の初歩的な知識、フィッシング詐欺・架空請求などの注意事項の説明と、ちょっとした疑問・質問を参加者の方から出していただきました。2日目は、質問の回答や写真の印刷のやり方などを説明していただきました。



しめ飾り作り講習



日時	12月23日(水) 午前9時30分から正午
場所	中部地区公民館 多目的ホール
内容	藁でなった土台に、手作りの扇や紙垂、ゆずり葉や松などを飾ります。 「縄ない」も行いますが、初めての方でも大丈夫です。
講師	小松正明先生
対象	中部地区在住の方
参加費	1個につき200円(材料代)
定員	15名(先着順、定員になり次第締切ります。)

参加者募集

持ち物	ハサミ、定規、セロテープ、千枚通しまたは目打ち、洗濯バサミ2個、手拭き用タオル、南天の実など飾りたいものがあればお持ちください。
申込み	12月4日(金)から電話にて受付いたします。
	* 縄ないの出来る服装でご参加ください。
	* マスク着用のうえ、うち履きはお持ちください。

参加者募集

レカンフラワー (花の宝石箱)

- 日時 令和3年1月15日(金)
午後1時30分から午後3時30分
- 場所 中部地区公民館 会議室1・2
- 講師 レカンフラワー本部講師
佐竹京子先生
- 対象 中部地区在住の方
- 参加費 1,000円(材料代)
- 定員 10名(先着順、定員になり次第締切ります。)
- 持ち物 手拭きタオル、ハサミ
- 申込み 12月4日(金)から電話にて受付いたします。
- * マスク着用のうえ、うち履きはお持ちください。
 - * 飲み物は公民館で準備します。



レカンフラワーとは?

本来ならば枯れてしまう植物に、新たに命を宿し、永遠にきれいに咲き続ける「花の宝石箱」の様だということでレカンフラワーと名付けられました。

いつまでも残るフラワーアレンジメントの新しい表現方法がレカンフラワーです。

とても素敵な作品です。見本品は公民館に準備しております。どうぞご覧ください。

12月の予定

- 12月 1日(火) ブッダナッツアレンジ
- 12月 3日(木) はこべの会 映画鑑賞
- 12月10日(木) はこべの会 映画鑑賞
- 12月16日(水) はこべの会 サロン
- 12月23日(水) しめ飾り作り
- 12月28日(月) ワックスがけ

12月29日(火)から 1月3日(日)まで公民館は閉館します。

- ★ 百歳体操は3日、10日、17日、24日

はこべの会の美化活動で、訪れる冬に向けて、耐寒性のあるパンジーを植栽していただきました。



12月 はこべの会 サロン ヤクルト健康講座

& 輪投げ大会

- 日時 12月16日(水)
午前10時から
- 場所 中部地区公民館
多目的ホール
- 参加費 無料
- 申込締切 12月11日(金)
- 申込は12月3日(木)午後1時からです。
今回の当番は八日町、美咲町、東町、栄町の皆さんです。
当番の方は当日9時40分集合です。
よろしくお願ひします。
- * 飲み物とうち履きはお持ちください。
 - * コロナの影響により申込人数に20人の定員制限がありますのでご理解とご協力をお願いいたします。

お知らせ

中部地区公民館管内(対象地区)とは?

上・中・下十日町、上・下新丁、北町、栄町、八日町1、2、美咲町、東町、沢丁、新湯、荒町、八幡丁、仲丁、湯町、湯町新道、軽井沢、御井戸丁、新町、西山の22地区です。

公民館行事にご参加ください。電話、お待ちしております。

『城廻り』シリーズ2. 城西廻り(2) 旧国道13号線(2)

西山山麓に昭和40年バイパス(旧国道13号線)が出来ました。今回は、お城の東廻りと西山山麓の状況を眺めてみます。

明治11年の三島県令時代に新丁坂下で湯尻川を渡って北方の早坂まで新道が造成されました。弁天交差点から高松葉山交差点までの上山・七ヶ宿線の道路は、西廻りバイパスを経由した距離とほぼ同じ(3,660m)です。

また、弁天交差点(ウエルシア)の標高GPS189mから新丁坂下183m、下十日町角181m プラザ前交差点(旧カミン)176m、石崎交差点(旧ビッグバン前付近)176mまでほぼ同じ標高で推移し、三木屋前の高松葉山交差点の標高GPS188mは弁天交差点と同じ標高になっています。

市街地の道(十日町線)は西山の山裾が尽きる際(前川縁)を道としているのに対して、昭和40年に造成された西廻りバイパスは山麓途中を開鑿して造成されました。

西廻り旧バイパス13号線の高低差を見ると、弁天ウエルシア地点から軽井沢陸橋(スリーエー自動車付近)で標高204m、寿仙寺前202m、天神町口(矢口歯科院付近)199m、やや下って新湯交差点(荒町川付近)190mで、大丸食堂前にかけてまた上って211mを頂点として高松葉山交差点まで長い下りとなります。

つまり、旧羽州街道は前川に沿った道であるのに対し、西廻りバイパスは大きく俯瞰す

ると北西側の経塚山の麓に広がる軽井沢地区と、南西側の虚空蔵山丘陵の裾に広がる河崎・松山地区との、境にある荒町川を挟む二つの山裾を開鑿して造成された道路なので、「西山陸橋」は八幡丁と八幡堂川上流のホタル生息地の西山地区に往来する生活橋の架橋、「虚空蔵橋」はもと地続きの松山(二丁目)から虚空蔵山(高楯山)麓(松山三丁目)に通じるために築造された立橋となっているのです。

往古の高楯山にお城があった頃の「出羽の大道」は、山形吉原から花立峠を通過して旧国道13号線バイパスのやや山側の三千刈へ上ったり下ったりしながら高松方面に通じていました。お城が月岡に築城された後には旧羽州街道は地蔵堂から軽井沢に出て、今の妙正寺、浄光寺、寿仙寺前から観音坂へ幾度も曲がって矢来に向かいました。下大湯共同浴場が出来ると四ツ谷から新丁坂下を通る道となりました。明治7年に四ツ谷から黒沢に通じる道路が開かれ、明治11年になると新丁坂下から早坂まで新道が開かれたのです。この地勢を基に今後展開したいと思います。

参考資料

『市史』(上・中)、『ふるさと北部』、『上山繁昌記』、「古道探訪ウオーク・出羽大道編」(前文化財専門員・郷土史研究会顧問高瀬陽吉氏資料)

※なお、文中に示した地点高度は筆者が高度計で測定したおおよその標高です。

中部地区 公民館だより

第119号

令和3年1月6日発行
上山市中部地区公民館
上山市十日町4番11号
TEL/FAX 673-2588

新年のあいさつ (令和3年 新春)



新年明けましておめでとうございます。中部地区の皆様には、日頃から中部地区公民館の事業に対しまして、深いご理解とご協力を賜わりまして、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、去年は、令和になって初めての正月を迎え、その余韻が覚めやらぬ間に、新型コロナのニュースが世界中を駆け巡りました。

日本におきましても、日に日に感染者が増加しており、医療崩壊が危ぶまれる状況にあります。

このような中で、中部地区公民館と致しましても、感染防止の観点から、これまで事業の延期、中止、変更、縮小やその他感染防止策を講じてまいりましたが、現在におきましても利用者の皆様には、多くの制約なりご不便をお掛けしており、大変申し訳なく思っているところでもあります。

丑年です。
勤勉で誠実なイメージがあります。
良い年になりますように！



皆様には、引き続きマスクの着用、手洗い、消毒、そして三密を避けていただく事がご自分の命を守ることになり、ひいては家族や地域を守ることに繋がると思っております。

このような中で、今年の公民館事業は、これまでにない形態で実施する必要があると思われませんが、これまでどおり郷土を愛する心や健康、利用者相互の信頼関係を築く等を基本としながら、各種事業を展開して参りたいと考えております。

暦上では、もう1ヶ月もすれば、春です。この厳しい冬の状況を克服すれば、必ず梅や桜や草花が花を咲かせてくれます。それを信じて、油断する事無く日々の生活をして行きましょう。

結びに、皆様には、引き続き公民館事業についてご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が皆様にとって健康で幸せな年でありますよう心からご祈念申し上げ、新年にあたってのごあいさつとさせていただきます。

中部地区公民館長 堀川 栄助

はこべの会 施設研修、映画鑑賞



12月3日(木)、10日(木)にはこべの会で山形県立博物館と映画鑑賞に行ってきました。

博物館では、特別展「奇妙で変てこな生きものたち」を見学してきました。映画は「スパイの妻」を観てきました。

コロナ過の中、制限はありましたが久しぶりのお出かけで楽しい一日でした。



参加者募集

出前スポーツ

骨盤底筋体操

はこべの会共催

日時 1月13日(水)午前10時から11時
場所 中部地区公民館 多目的ホール
対象 中部地区在住の方
参加費 無料
講師 NPO 法人かみのやまスポーツクラブ
持ち物 タオル、お持ちの方はヨガマット

- * 申込みは1月12日まで中部地区公民館をお願いします。
- * マスクの着用のうえ、履物はお持ちください。
- * 飲み物は公民館で準備します。

手芸講習会①～③

今年度の手芸講習はコロナウィルス感染拡大防止のため、1回の講習時間が午前9時から正午までになります。

日時 1月21日(木)、28日(木)、2月4日(木)
午前9時から正午
場所 中部地区公民館 会議室1、2
講師 伊東良子先生
内容 ミニのれん
対象 中部地区在住の方
参加費 300円
持ち物 裁縫道具、筆記用具

- 定員 10名(先着順)
- * マスク着用のうえ、履物はお持ちください。
 - * 飲み物は公民館で準備します。



生地は見本と異なります。

令和3年4月1日から 公民館使用料等が変わります

- ◎使用料が1時間単位になります
 - ◎減免の対象者と減免の額が変わります
- お問合せは上山市教育委員会、生涯学習課(672-1111 内線 311)まで

中部地区公民館対象地区

上・中・下十日町、上・下新丁、北町、栄町、八日町1.2、美咲町、東町、沢丁、新湯、荒町、八幡丁、仲丁、湯町、湯町新道、軽井沢、御井戸丁、新町、西山の22地区です。

1月の予定

- 13日(水) 骨盤底筋体操(はこべの会共催)
- 15日(金) レカンフラワー
- 20日(水) はこべの会 歌の教室①
- 21日(木) 手芸講習①
- 22日(金) はこべの会 歌の教室②
- 26日(火) 救命救急講座
- 28日(木) 手芸講習②

1月の百歳体操はお休みです



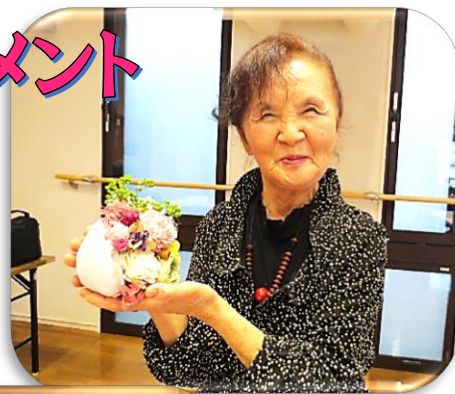
ブッダナッツのフラワー アレンジメント



武田先生



笑顔がいっぱい～い



12月1日(火)中部地区公民館でブッダナッツのフラワーアレンジメントが行われました。ブッダナッツはインドやミャンマーに生えている木の実に、仏陀の顔に形が似ていることから、幸運の实ともよばれているそうです。その幸運の实を使って武田先生の指導を受けながら、思い思いにドライフラワーなどでアレンジしました。

2月に行われる「女性のつどい」の作品展に展示したいとおもいます。皆さんの力作を見にきてください。



しめ飾り作り



12月23日(水)中部地区公民館でしめ飾りの講習会を行いました。

参加者の皆さんは手や藁に水を湿らせ、藁と悪戦苦闘しながら縄ないをし、しめ縄を完成した人、先生や職員に手伝ってもらいながらしめ縄を完成した人などそれぞれですが、しめ縄を手にとって満足そうでした。

最後に松やゆずり葉などを飾りつけ、自分だけのしめ飾りができあがりしました。

2021年のお正月は今までとちがう大変な正月を迎えることになりましたが、手づくりのしめ飾りで「福」を呼び寄せる事ができたのではないのでしょうか。



小松先生



さすが、小松先生！
お見事です！



地域の宝再発見

NO.56

『城廻り』シリーズ2. 城西廻り(3) 「湯尻川」

十日町に住んでいる私にとっては、「湯尻川」はなじみの川です。上山小学校に向かう観音坂の脇を流れ、また舞鶴の丘（観音寺・愛宕神社台地）東の裾を、人目につきませんが北上し流れています。

「湯尻川」は、湯町鶴之湯で湯が混ざってこの名になっています。しかし、湯尻川の川筋が地表を川として流れているところは多くありません。鶴之湯の湯は鏡橋まで暗渠で流れ、観音坂上のもと桑原八百屋さんから急に落ち下ってもとよね屋旅館（現十日町駐車場）を通過して三島丁の川なり橋暗渠に合流、下大湯隣の旧滝沢屋旅館の下をくぐって愛宕神社参道前を通り、新丁坂下まで流れます。そこから白鷺橋、奥羽本線（山形新幹線）の架橋下を流れて前川に合流します。

しかし、湯尻川は鶴之湯が源ではなく、もっと上流があってお湯が混入して湯尻川という名になっています。湯尻川の源流ははたしてどこでしょうか。

前回の「お城西廻り」で紹介しましたが、西山麓の鶴脛町は秋葉山と経塚山のなだらかな山裾に広がる地帯で、虚空蔵山と経塚山の境に荒町川が流れています。もと愛宕山（西山架橋の西）の西山地区に流れる経塚山と秋葉山の境を流れるホタルの里の清流は八幡堂川で、鶴脛町一丁目の千本槍橋の少し上流で荒町川に合流し、沢丁を流れて二日町の八幡神社脇で前川に合流します。

さて、湯尻川上流は、ホタルの里の下方に秋葉山方面の元八幡宮に登る分岐橋がありますが、その橋のすぐ下で八幡堂川は分岐して流れは西廻りバイパスに達します。すると川専用の架橋で国道を渡り北流して鶴脛町一丁目（八幡丁）に入る所で国道沿いの花壇を潤す水に一部供されますが、そこから先はまた暗渠になるので確かめられないのですが、一つ

は東流して武家屋敷方面の地帯を潤し、一つは北流し寿仙寺方面からの水と合流し舞鶴坂を下って湯町鶴之湯源泉に至り、湯町新道・鏡橋口に流れます。武家屋敷地帯を潤した一部の水は三輪家、旧曾我部家の間に水が流れ出て分水嶺となり武家屋敷通りの側溝を南北に分かれ、一方は湯町の方に、一方は沢丁方面に流れて元お城のお堀を形成するように迂回します。昔は大沼、牛沼に流れ込む水源だったのでしょう。こうして湯尻川本流は湯町鶴之湯を経由して下大湯方面に流れるのです。

高瀬陽吉氏（郷土史研究会前会長、現顧問）のガイドで、古道探訪ウォーク（出羽大道編第4回）があり、市民、郷土史研究会員一同古道を研修する機会がありました。現地説明で「湯尻川源流」が紹介されました。「伝承によれば、鶴脛町・仲丁等の屋敷用水堰として開鑿されました。流れの水源は「蛭の里」、付近の八幡堂川から引き込み「湯尻川」と名を変え、国道（四五八号線）を越えています」。珍しい名の湯尻川は、築城頃の城西の武家屋敷を潤し、大沼（現上山小学校グラウンド）に流れ込んでいましたが、今は幾重にも分岐し暗渠に潜ったり側溝に整備され地表に顔を出したりして流れ、前川に合流しているのです。



西山陸橋のすぐ北で国道上を横切る「湯尻川」

中部地区 公民館だより

第120号

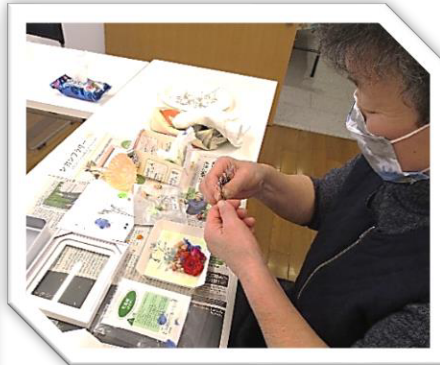
令和3年2月1日発行
上山市中部地区公民館
上山市十日町4番11号
TEL/FAX 673-2588

こうすると
もっと素敵よ

素敵な宝石箱が完成！



講師の佐竹京子先生



1月15日(金)、レカンフラワー本部講師の佐竹京子先生にご指導いただき、2つのタイプから好きな方を選び、素敵な作品を完成させました。

バケツ型にアレンジするものでは、基本の材料は一緒でも、配置の違いや、追加する花の量や色によって全然違う出来上がりになりました。「この花きれいだね」「蝶々付けると可愛いね」など、お互いの作品を参考にしながら、納得のいく作品ができました。

レカンフラワーとは、花の宝石箱という意味。きれいな花の色を長く楽しめます。



もう1つは、土台なしに自由にアレンジしていくタイプです。初めは恐る恐る制作していましたが、先生にアドバイスしていただき、試行錯誤しているうちに段々とボリュームアップしてしまい、結果的にとても豪華な作品が完成しました。縦形に作ったつもりでも横形に飾った方が素敵に見えたり、上下逆に飾って見たら遊び心があったり、飾り方でも楽しむことができるとアドバイスをいただきました。

歌の教室

はこべの会 学習会



鈴木先生

1月20日(水)、22日(金)に、はこべの会「歌の教室」を開催しました。これまでは1回の開催でしたが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回に分けての開催となりました。



歌を歌う前に、口角を上げる口の運動。目を見据えることで目の周りの筋肉を使う運動。血流が良くなるように足首の体操もしました。

ストレッチが終わったら、講師の鈴木友恵先生の伴奏に合わせ、マスクを着けながら、朝の連続テレビ小説『エール』でモデルになった、古関裕而さんと古賀政男さんの曲を数曲歌いました。

「懐かしい曲で楽しかった」「久しぶりに大きい声で歌えた」など感想をいただきました。



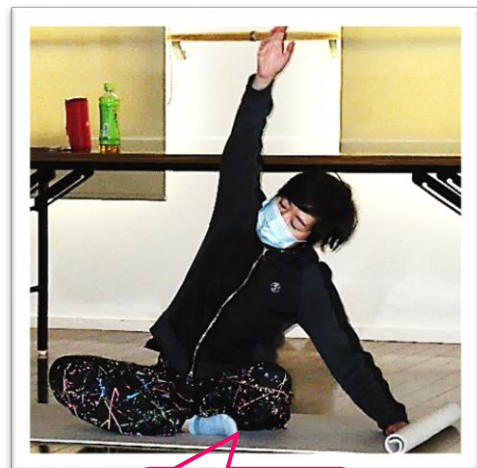
出前スポーツ教室

はこべの会サロン共催

骨盤底筋体操

1月13日(水)、中部地区公民館で骨盤底筋体操を行いました。コロナ禍で思うように外出できなかったり、冬場で運動不足になっている中、少しはストレス解消になったのではないのでしょうか。

「いつでもどこでもだれでも続られる」という言葉もいただき、とても有意義な時間を過ごせました。



東海林先生



第45回 上山市女性のつと

～女性の力「活かそう」 つなげよう 未来へ～

期日 令和3年2月13日(土)・14日(日)

会場 三友エンジニア体育文化センター

🌸 作品展示

日時 13日(土) 10:00～16:00

14日(日) 10:00～14:30

会場 1階 軽スポーツルーム1、2

🌸 ステージ

日時 14日(日) 10:00～

会場 エコーホール

・開会セレモニー 10:00～

榎下宿 とつくり踊り(榎下宿とつくり踊り保存会)

・開会行事 10:20～

・講演会 10:35～

『私のコミュニケーション論

～家業を継いで笑顔の声で～』

講師 有限会社 壽屋寿香蔵 代表取締役 横尾友栄 氏

・アトラクション 12:45～

・閉会行事 14:40～

お願い

公民館の事業で作った七宝焼き、粘土細工、ハーバリウム、レカンフラワー、ブッダナッツ、今、制作中のミニのれんなど「女性のつと」で作品を展示したいのでお貸し下さい。

2月10日(水)までお持ちください。
よろしく申し上げます。



出前スポーツ

参加者募集

カローリング

カローリングは氷上ではなく室内でカローリングができるように考案されたスポーツです。

子供から高齢者まで年齢、性別、体力に関係なく気軽に競技できるスポーツです。

日時 2月17日(水)午前10時から11時

場所 中部地区公民館 多目的ホール

対象 中部地区在住の方

講師 NPO 法人かみのやまスポーツクラブ

持ち物 タオル

*マスクの着用の上、履物はお持ちください。

*飲み物は公民館で準備します。

2月の行事

4日 手芸講習 ③

8日 手芸講習 予備日

17日 カローリング(はこべの会共催)

19日 事業打合せ会

24日 はこべの会閉級式 ①

26日 はこべの会閉級式 ②

2月の百歳体操はお休みです。



節分

2021年の節分の日は2月2日(火)です。節分は固定ではなく、「立春の前日」というルールがあります。

今年の立春は2月3日(水)なので、節分は2日(火)になります。

節分が2日になるのは124年ぶりです。



お願い

公民館を使用する際、不織布のマスクの使用にご協力ください。

中部地区対象地区

上・中・下十日町、上・下新丁、北町、栄町、八日町1.2、美咲町、東町、沢丁、新湯、荒町、八幡丁仲丁、湯町、湯町新道、軽井沢、御井戸丁、新町、西山の22地区です。

地域の宝再発見

NO.57

『城廻り』シリーズ2. 城西廻り(4) 「大沼・牛沼」

1、「見聞随筆付図集」 図

上山城が建つ地は月岡といわれました。「月岡は当城地のことにて往古より月岡といい、また天神森という。鎌倉將軍時代、当国の国司大江廣元の嫡男大江親廣守神の天満宮をこの月岡に勧請ありてより、月岡天神森と名づく」と『上山見聞随筆』（菅沼定昭著）と記しています。その月岡の西、現在の上山小学校グラウンドの地に「大沼」、その南に「牛沼」がありました。なだらかな西山丘陵が低地になり月岡があった地勢を物語っています。付図集の長禄年間（足利義政將軍代、1458）略図に「大沼」が画かれています（後世命名の想像図）。土岐侯藩主代の寛永6年（1629）の城郭絵図にははっきりと「大沼」が記載されています。紫衣事件で沢庵禪師が上山土岐頼行侯にお預かりになった事件があり、春雨庵が完成するまで大沼の西に仮屋住まいしたことが幾枚かの城絵図に描かれています。さらに大沼の南に「牛沼」、カラボリ、薬研堀があり、西山からの小川や伏流水が貯まり沼が形成あったことが窺われます。

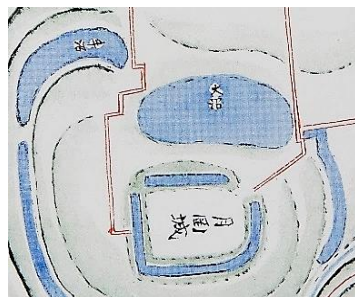
徳川幕府の命による「出羽国之内上山絵図」（通称「正保絵図」正保元年 1644、国立公文書館所蔵、重要文化財指定）には、「大沼」の大きさ（城側長さ140間、土手高6尺、武家屋敷側長さ111間、深さ6尺〔1m80cm〕）と記されています。また「蘆茂る」ともあり、藤井松平侯時代（享保2年 1717）の図絵には「水深9尺」の記載があります。相当深かったようで、自然の要害としての外堀の役を果たしていました。

土岐伊豫守侯の時代の絵図には、古道があった方面に「土門」（元の追手門）が築かれ、その南に牛沼、薬研堀が沢丁方面につながるさまが描かれています。

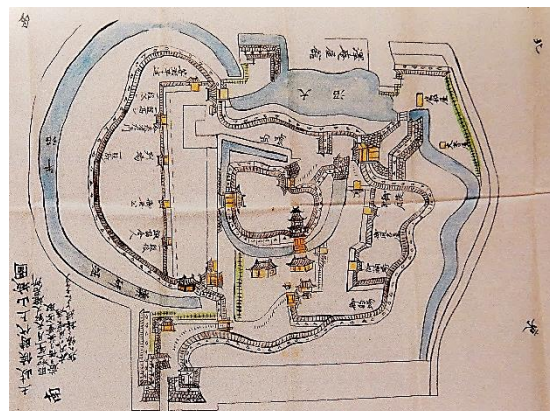
後代、東側大手門口にあった明新学校（明治11年創立）が、学令改正に伴い明治25年に

沢丁（元牛沼辺り）に移転し、次いで御館（現上山小学校地）に男子学校として移転すると、旧校舎は女子教育のための学校になりました。その後、郡立農学校が開校し、お湯が新たに掘鑿されると新湯温泉旅館が建ち並ぶようになります（新湯発展史は別に稿を起こします）。大沼の北側に湯町源泉、南側に新湯が湧出するというのには目に見えない自然の摂理によるのでしょうが、人々には全くの奇蹟、僥倖といえることでしょう。

付けたりですが、大沼の東の城山中腹に「西内堀」があります。水がどのように貯まるのか分からない不思議な堀で、折々水鳥が羽を休めています。その周囲は整備されたメルヘンチックな小公園があります。上山小学校の管理になるものですが、その丹精ぶりが好ましく感じられます。是非訪れてみてください。



「見聞随筆」付図集
（天文年間武衛氏月岡城略図）



「土岐侯時代上山城図」（上山市蔵） 上部（西）に大沼、左（南）に牛沼、大沼上（西）に沢庵屋敷

※「上山見聞随筆」、付図集、「上山城絵図と瓦」（上山城郷土資料館刊）、「正保絵図」、「上山市史」を参考にしました。

中部地区 公民館だより

第121号

令和3年3月1日発行
上山市中部地区公民館
上山市十日町4番11号
TEL/FAX 673-2588



救急救助係 堀江良太さん

救命救急 講習会

救急車がくるまでに
できることがあります！

1月26日(火)
中部地区管内地区会長対象



地域消防係 小林美佳さん

公民館多目的ホールにて、上山市消防本部職員の指導で、救命救急講習会を開催しました。心肺蘇生の手順については毎年講習を受けていますが、年1回ということもあり、「何回やってもドキドキする」、「頭では解っていても焦るね」などと話しながら、手順どおりに実践しました。胸骨圧迫では、手の組み方（両手の指を互いに組むとより力が集中する）、姿勢、リズムに注意し、複数で交代すれば負担が少なく実施できることが解りました。救急車が到着するまでに、全身に血液を送ることがとても重要であるとの説明を受け、ちょっとした勇気と行動で救える命があることを再確認しました。毎年実施することで、少しずつでも自分の知識が増えるように、継続は力なりで頑張っていきたいと思います。



心停止の予防

心停止の早期
認識と通報

救命の連鎖は
4つの輪

一時救命措置
(心肺蘇生とAED)

二次救命処置と心拍
再開後の集中治療

手芸教室

ミニのれん作り



伊東先生



1月21日(木)、28日(木)、2月4日(木)に中部地区公民館で手芸教室を行いました。

今年はおかめとひよっとこのミニのれんを作りました。

1日3時間の時間制限がある中、参加者の皆さんは、ほとんどの方が2日間で完成したようでした。出来上がった作品はどれも満足のいく作品に仕上がりに、女性のつどいにも出品しました。

出前スポーツ教室 カローリング

はこべの会サロン共催



2月17日(水)に出前スポーツ教室でカローリングを行いました。

カローリングは、氷上のスポーツのカーリングからヒントを得て誕生した床の上で行うスポーツです。

4チームに分け総当たり戦で競技を行い、思うところとは全く違うところだったり、的の中心部にピッタリ寄ったり、大きな拍手と歓声とで大変盛り上がりしました。

参加者の皆さんからは、「今日は雪でしたが体を動かしてよかった。」「楽しく久しぶりに体を動かすことができた。」「体を動かすだけでなく、頭の体操もできてよかった。」と感想をお寄せいただきました。



齋藤先生



第45回 上山市女性のつどい



2月13日(土)、14日(日)に三友エンジニア体育文化センターにて「上山市女性のつどい」が行われました。

作品展には、市内の女性団体や各公民館からたくさんの作品が出展されました。

中部地区公民館では七宝焼、ハーバリウム、レカンフラワー、ブッダナッツアレンジなど、各講座に参加して下さった皆さんからお借りした作品を

展示しました。来場者の中には時々写真を撮る方もおり、ゆっくりと見学していました。

ステージでは講師に有限会社壽屋寿香蔵 代表取締役 横尾友栄氏を招いて『私のコミュニケーション論～家業を継いで笑顔の声で～』の講演会が行われました。

3月の行事

- 8日(月) 中部地区公民館管内地区会長会
- 10日(水) はこべの会サロン
- 17日(水) 中部地区公民館運営委員会

3月の百歳体操はお休みです
(4月から開催予定です)

はこべの会サロンのお知らせ

3月のサロン 上山城雛祭り鑑賞



各時代を彩ったひな人形を見学します

日 時 3月10日(水) 午前10時から
 集合場所 上山城正面入り口
 参加費 200円
 申込締切 3月5日(金)



中部地区対象地区

上・中・下十日町、上・下新丁、北町、栄町、八日町1,2、美咲町、東町、沢丁、新湯、荒町、八幡丁、仲丁、湯町、湯町新道、軽井沢、御井戸丁、新町、西山の22地区です。

『城廻り』シリーズ2. 城西廻り(5) 「鏡橋」

お城西廻りシリーズは、西山麓と水の流れを見てきましたが、今回は鏡橋です。

鏡橋は、『上山見聞随筆』に由来が載っています。「古老の云う、むかし鏡橋の辺に前川月岡の根ぞへをへて湯ノ上観音堂の下を巡り流れて、ここを鏡ヶ淵という。その頃この辺りに温泉の湯気流れ出しに、日々鶴の来たりて足痛をひたし癒せしを見て温泉なることを知り、この鏡ヶ淵の辺より今の湯元に至りしといふ」との温泉伝承に加え、「ここに鏡石といふあり。ゆへに鏡ヶ淵といふ。今は鏡橋といふ」と湯尻川との関係を記しています。

鏡橋の地は、下大湯から観音坂を上ると直線先が山城屋、左は上小通用門、右は御井戸丁方面に向かう小さな四差路があり、この地を鏡橋と呼んでいます。現在の湯尻川は鏡橋脇下5mで土管から流れ出て小さい谷を流れています。

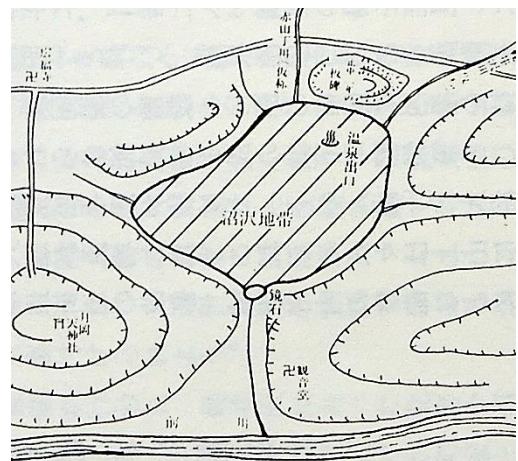
湯尻川は昔は瀧のように落ちていたのでしょうか。関係の順序ですが、先ずお湯の湧出があって鏡橋を経由し前川に注いでその川水の貯まりを「鏡ヶ淵」と云うとしています。観音寺（水岸山、観音堂）のご本尊が鏡ヶ淵の岸上に祀られたという由縁は、鏡橋、そして鶴之湯が源であったと著者菅沼定昭は関連づけているのです。

また、別に「松平丹後守重忠公（上山藩初代）御代寛永二年（1625）に、往還筋を花立通り軽井沢先き升形より鏡橋を通り八日町升形をへて（略）榎下宿へ至る道を改め、四ツ谷升形より矢来升形から榎下村に至る道路になる。この時に鏡ヶ淵観音堂の崖下に下大湯を移し出さる」と記しています。寛永二年までの道筋を、湯の小路を通らないように、花立峠、軽井沢、鏡橋経由、大川橋（升形）、八日町へと道筋を家中地外へ広げたと記しています。

その前の道筋は、花立地蔵、湯町源泉地、切り通し方面への途中右折し鏡橋、観音寺前へ。別道として花立地蔵、軽井沢、御井戸丁を下って鏡橋、観音寺前へ。次いで先の記述のように花立地蔵から四ツ谷交差点を下り、新丁坂下、

十日町通り、矢来橋（升形）、榎下に通じる現在羽州街道と称されている往還史を示していることとなります。升形は城中へ出入りする虎口（番所）です。ちなみに鏡橋から軽井沢陸橋までのまっすぐの道は後に拓かれたものです。

さて、鏡橋の由来に戻ります。「鶴脛温泉記」に記述があります。「当時は観音寺の辺りで高く堰止められ、その水落ち口には扁平な大石があって月夜の晩などは月影が鏡のように映ったので鏡石と名づけられた。（略）ここから流れ出る川に鏡石を以て架けたのでこの一帯を今でも鏡橋と云っている。この沼が切り拓かれ排水され、数カ所に温泉が現れたのでこの温泉を利用して近傍の人々が入浴していたが、何時とはなしに一聚落が出来て湯の小路と称したのである」と。秋葉山谷の湯尻川源流と白禿山硯水と合流し、鶴之湯の温泉水をまじえ鏡橋から観音坂脇に向けて大きく流れ下ります。山麓の川と温泉水は大沼に流れ込んでいたのか、やや段差を下りながら鏡橋に至っていたと考えられます。実際は不明ですが、「鶴脛温泉記」や地況略図は情景描写豊かな推察だと思います。



鶴脛温泉発見当時の地況略図（「上山の湯と宿」湯上和気彦著）

※参考文献

「上山見聞随筆」資料集⑱（菅沼定昭著）、「上山年代略記」資料集②（岡村如風著）、「鶴脛温泉記」資料集③（「上山温泉開基五百年記念誌」執筆：梅津吉造、湯上和気彦、萩生田憲夫の各氏）、「上山の湯と宿」（湯上和気彦著）※下大湯前「鶴仙園」に鏡石が保存設置されています。現在雪に覆われているので写真を掲載出来ません。ご了承下さい。

水岸山観音寺 住職 鎌上 宏